

長崎市提案型協働事業提案企画書

団 体 名	トムテのおもちゃ箱
提案事業の名称	地域のおもちゃ箱発掘事業
提案事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル運営の具体的なノウハウを伝えることにより、既存の子育て支援センター、お遊び教室等への「参加者」という従来までの子育てのあり方に加え、自らサークルを運営するという新たな子育てのあり方を提案し、子育てに対する選択肢の多様化をはかる。 ・子育てサークルを増やすことにより、育児中の保護者が自分に合ったサークルを見つけやすくし、ひきこもり育児解消のファーストステップとする。 ・子育て中の保護者自身が自ら仲間と集い親子で触れ合いながら子育てを楽しめるようなきっかけづくりを提案し、今現在「支援される側」にある育児中の保護者を「支援する側」、地域コミュニティで積極的・主体的に活動できる人材へと育成する。
課 題 の 緊急性・重要性	<p>子どもや子育て家庭を取り巻く環境は、ライフスタイルや価値観の多様化とともに大きく変化しており、子育て家庭も、様々な不安や負担を抱えている。そのような中、育児不安や悩みの解消、仲間づくりの場の提供を目的とした様々な支援事業が行政を中心に行われ、保護者の多くは用意された場所へ「支援される側」として参加する場合がほとんどである。しかし本来、住みよい地域づくりあるいは子育てしやすいまちづくりには子育て中の保護者の主体的、積極的な活動が大変重要である。近所や友達同士で自ら集い、親子でふれあう機会を作るなど、子育て家庭同士での交流の場を広げていけるような人材…「支援される側」から「支援する側」へと保護者を育て、地域における子育て力を養っていくことは、将来的には地域へ貢献できる人材を生み出し、地域コミュニティの活性化にもつながる重要なことと思われる。</p>
協働の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所の確保が容易となり、講座の定期的安定的な開催が可能となる。 ・市と役割分担できることにより団体の得意とする子育てサークル運営のサポート活動に集中できる。 ・子育て支援課がもつネットワーク、広報などの媒体を活用することにより、広く周知することができる。 ・行政との協働により、事業に対する信頼度が高まり、公募がスムーズに行える。

<p>協働による 相乗効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市が優先して予約できる施設を会場とすることで、活動場所の確保が容易となり、講座の定期的安定的な開催が可能となる。 ・おもちゃひろばの申込先を市とすることで、参加希望者が安心して申し込める。 ・子育て支援課のもつネットワーク、広報などの媒体を活用することにより広く周知することができる。 ・当団体が得意とするサークル運営のサポート活動に集中しやすくなり、蓄積したノウハウを活かしたよりこまやかな対応が可能となる。 ・団体への信頼性が増し、活動に対する理解が深められ、団体の活動そのものの活性化につながる。 ・子育て支援課のネットワークを活かし、地域のお遊び教室等で広報することにより、民生委員さん等、地域の子育て支援関係者と団体とのつながりができる。
<p>協働の役割分担</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提案団体が果たそうとする役割 おもちゃひろば、連続講座、報告交流会の企画及び開催。 サークル作り及び維持運営のサポート 事業の広報 2. 本市に期待する役割 おもちゃひろばの会場確保、広報、参加者申し込み受付 講座及び報告交流会の開催場所の確保・調整 事業の広報・PR 民生委員さん等地域の子育て支援関係者と連絡調整 サークルのHPでの紹介
<p>提案事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃひろばの開催（親子40組 90名 於木鉢公民館） 子育て中の保護者を対象におもちゃを媒体とした、親子の遊び場及び子育て家庭の交流の場を提供及び子育てサークルを作るための連続講座の参加者募集 ・連続講座開催（保護者15名 全6回 於木鉢公民館） おもちゃやあそびを中心にサークル運営の具体的な方法を提供 最終回にはサークルを立ち上げ、運営の実習を行う ・サークルの自主的活動のサポート 報告会交流会（毎月1回 於木鉢公民館） 視察（各団体2回）を行う 上記の事業を行うことにより、連続講座終了時にサークルを2つ以上作り、継続的に活動が行われるようサポートすると同時に、受講生の子育て観等の変化を把握するため、講座終了時にはアンケートを実施する。

<p>提案事業の 実施体制</p>	<p>1. 総括責任者 高野幸恵 2. 連続講座担当責任者 原口光美他 専従スタッフ4名 3. サークル維持運営責任者 高野幸恵他 専従スタッフ4名</p> <p>トムテのおもちゃ箱では2004年に発足以来（2008年に長崎グッド・Toy委員会より名称変更）おもちゃキットの貸出を中心におもちゃひろばやボードゲーム大会の開催、カプラのワークショップなどおもちゃ遊びを中心とした子育て支援活動を行っている（昨年度の活動実績については別紙参照）。</p> <p>現在の登録団体は21団体 会員 26名 有資格者 高野幸恵</p> <p>NPO 法人日本グッド・Toy委員会認定おもちゃコンサルタントマスター 日本プレイセンター協会 スーパーバイザー 教育学修士 原口光美・堀江香子</p> <p>NPO 法人日本グッド・Toy委員会認定おもちゃコンサルタント 石瀬尚美 長崎県メディア安全指導員 齋宮有由美・中村貴子 保育士 幼稚園教諭</p>
<p>事業スケジュール</p>	<p>平成25年4月初旬 おもちゃひろば告知・参加者予約受付・講座準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月第4週目 おもちゃひろば開催（親子40組 90名 於木鉢公民館） ・ 5月第4週目 第一回目講座 世界のおもちゃで遊ぼう （以下連続講座は各々保護者15名於木鉢公民館） コーディネータ：高野幸恵（トムテのおもちゃ箱代表） ・ 5月第5週目 第二回目講座 おもちゃのことを知ろう コーディネータ：高野幸恵（おもちゃコンサルタントマスター） ・ 6月第2週目 第三回目講座 テレビやゲームとどうつきあう？ コーディネータ：石瀬尚美（長崎県メディア安全指導員） ・ 6月第3週目 第四回目講座 ミニミニおもちゃひろばをやってみよう1 コーディネータ：原口光美（おもちゃコンサルタント） ・ 6月第4～5週目 第五回目講座 ミニミニおもちゃひろばをやってみよう2 <p>*各グループの日程・会場で開催</p> <p>コーディネータ：高野幸恵・原口光美・和泉由理香・朝倉さやか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月第1週目 第六回目講座 みんなで話そう！ コーディネータ：原口光美 <p>連続講座終了後 サークル活動継続のためのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告交流会（毎月1回）を開催 ・ 各サークルへの視察（各団体2回） コーディネータ：高野幸恵・原口光美・和泉由理香・朝倉さやか
<p>事業の展望及び 今後の活動展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業終了後も、継続的にサークルが活動を行えるようサポートを行なっていく。特におもちゃキットの貸し出し以外にも、子どもから大人まで楽しめるゲーム大会やカプラのワークショップの開催等、年齢に応じた遊びの提案を行い、長期間にわたる継続的なサポートを行う。